

テントを収納する

※各部の名称は裏面の「各部材の名称」を参照してください。

- ①ロープ先端に取り付けたベグ、またはパッドに打ち付けたベグを全て抜き取ります。なお、風対策用品(加重プレート等のオプション品を)ご使用の場合、または、ベグと併用してご使用の場合はこれを取り外します。
- ②下部スナップボタン(右上図を参照)を押して、アウターレグを一番下までスライドさせます。
- ⚠ 注意

● バランスを崩してテントが倒れる恐れがあります。アウターレグをスライドさせる際は、必ず一辺に並んだ2本の脚を、同時に縮めてください。
● アウターレグとインナーレグの連結部で手や指をはさむ恐れがあります。またスナップボタンを押すときも指を挟まれる恐れがあります。作業時は軍手等を着用してください。
- ③オーニングまたは看板をご使用の場合、中間ポール、オーニングアーム先端に取り付けているオーニングバーを取り外し、オーニングアームを下段の位置で固定します。オーニング生地は取り付けたままで大丈夫です。(オーニングバーの取り外しは中面の取り付け方法の逆の手順です。)
- ④四隅の天幕を少しめくり上げ、上部スナップボタン(右下図を参照)すべてを押して、ロックを解除してください。
- ⚠ 注意

● 上部スナップボタンを押さえる時に指をはさむ恐れがあります。しっかりトラスバーを押さえ、ロックを解除してください。
- ⑤天幕をつけた状態で、トラスバー下側のV字部分を持って、本体フレームを浮かせながらゆっくりと縮めてゆき、最後はアウターレグを持って縮めます。天幕はつけたままで大丈夫です。
- ⚠ 注意

● トラスバー、アウターレグ等により手や指をはさむ恐れがあります。本体フレームを縮める際は十分に注意を払い、ゆっくりと作業してください。
- ⑥本体に本体収納カバーを被せて、付属品の数を確認してください。

メンテナンスについて

- 1.使用後は天幕と本体フレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納してください。天幕の汚れがひどくなると美観を損なう上、耐候性・耐久性も悪くなります。また定期的に中性洗剤の希釈水を使って汚れやクスマを拭き取り、天幕や本体フレームに洗剤が残らないように濡れ雑巾等で拭き仕上げをしてください。(シンナーやアルコール類は素材や生地を傷める原因となるので絶対に使用しないでください。)
- 2.塗装部のはがれやサビを発見した場合は、市販の補修用品で早期に塗装、補修を行ってください。
- 3.ボルト各部やネジ等、緩みがないか定期的にチェックを行い、緩みを見つけた場合は付属の六角レンチ等で締めつけてください。その際、締めすぎますと、ネジがからまわりして壊れるおそれがありますので、適度にしてお下さい。
- 4.天幕などの生地製品は経年劣化してきます。防水効果も低下しますので、市販の防水スプレーや目止剤を使い、定期的に塗布することをお薦めします。また、キズや穴あきがある場合はシーラー剤等を使用して補修を行ってください。天幕単品をお求めの場合は、別途お見積り致します。詳しくは、お求めになった販売店へお問い合わせください。
- 5.天幕を濡れた状態や高温多湿場所に長期保管されると、色うつりやひびいたりする事がございます。定期的に広げてメンテナンスを行って下さい。

保管場所について

- 本品を保管の際は、直射日光を避け、雨のあたらないような風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。

仕 様

各部の名称

品番	サイズ	有効軒高	全高	収納サイズ	重量
V3 2020	2m×2m	200~216cm	224~240cm	290×290×1476mm	20.8kg
V3 3030	3m×3m	225~241cm	270~286cm	290×290×1725mm	24.2kg

フ レ ー ム	アルミパイプ+アルマイトコーティング仕上げ
ジョイント	GFK強化ポリプロピレン+グラスファイバー
天 幕 素 材	繊維補強強化ビニール
高 さ 調 整	3段階
付 属 品	本体収納カバー、ベグ、ベグ収納袋、ロープ、取扱い説明書
オプション	加重プレート20kg、横幕、他

http://www.sakuracorporation.com



株式会社さくらコーポレーション

本 社:〒610-0342 京都府京田辺市松井宮田26-1 TEL0774(65)4468 FAX0774(65)4063

関東営業所:〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野285-4 TEL048(737)0171 FAX048(737)0181

お問い合わせ、ご用命は……

2016.12

取扱説明書

ワンタッチイベントテント

VITABR





梱包内容

● 本体フレーム……………×1

● 本体収納カバー ……×1

● 天幕……………×1

● ロープ…………… ×4

● ベグ…………… ×4

● ベグ収納袋……………×1

このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損傷・事故、および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

● シグナルマークの定義 ●

⚠ 警告

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

● 警告ラベルについて ●

本品のフレームには、右図のような警告ラベルが貼り付けられています。警告ラベルの貼り付け箇所を確認し、要項を守ってご使用ください。また、万一警告ラベルが剥がれてしまった場合は、ラベルをご購入いただき、再度貼り付けてください。



「警告ラベル」

使用条件

● 使用環境 ●

⚠ 警告

①大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設営期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。

⚠ 警告

②使い勝手を良くする為、天幕には軽量で薄手の生地を使用しております。その為、過度の負担がかかる環境での設置や使用方法によりテントの寿命を著しく縮める場合がございますのでご了承ください。

● 用途 ●

⚠ 警告

①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。また、簡易目的用とした構造のため、完全な雨除けとしてはご利用いただけません。縫製部分より水が入る可能性がありますのでご了承ください。

⚠ 警告

②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠ 注意

③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊したりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。

取扱上の注意

⚠ 警告

①設営時にはテントが水平になるように設置し、必ず「ロープ」と「ベグ」、または別売りの「砂袋」「加重プレート」「ウェイトバック」等でテント支柱を固定し、はりづなをしっかりと取り付けてください。また、固定した後も、突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠ 警告

②本品を使用の際は、無人で放置しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告

③本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、天幕の素材には、難燃性のポリエステルを使用しておりますが、破損や火災発生の原因となります。

⚠ 警告

④ご使用前に、本取扱説明書をご理解していただいた上で、必ず一度組み立てテストを行ってください。その際、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。また本テントの使用、保管はお客様にて管理してください。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

⚠ 警告

⑤設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。

⚠ 警告

⑥設営・収納作業時には、トラス部分(ジャバラ状の骨組み)、スライド部分、ストッパー部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。

⚠ 警告

⑦設営・収納作業は安全のため、必ず大人2人以上で行ってください。また、フレームを設営、撤収する際は負荷が掛かりますので、無理せずゆっくり行ってください。変形や破損する恐れがあります。

⚠ 注意

⑧本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指等をはさむと大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。

⚠ 注意

⑨テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜まりますと、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。

テントの組立て方法

※ テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。

1



四隅のアウトターレグを持ち、少し浮か
せながら左右に広げます。

アウトターレグ

⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

2



トラスバー下部のV字部分を
持ち上げながら、外側に引っ張り、
本体フレームを半ばまで広げ
ます。

トラスバー

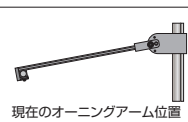
⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

3



この位置に合わせます

あらかじめオーニングアームを中段位置に合
わせます。オーニングアーム横の黒いレバーを
引きながら操作してください。



現在のオーニングアーム位置

軒の箇所を「オーニング」としてご使用される場合

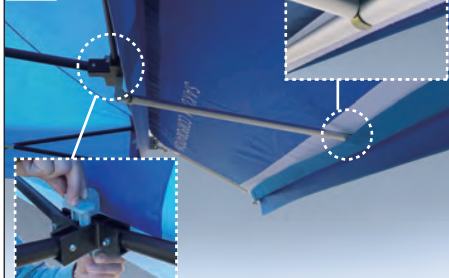
10



オーニングアームを中段の位置で固定し、
※オーニングの可動は必ず2人で操作をして
下さい。

⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

11



中間ボールをフレーム側とオーニングバーに
固定します。

12



ベース部を足で踏みながら、柱を上方向へ
『カチッ』と音が鳴るまで伸ばします。
柱は3段階で調整可能です。

※柱の伸縮は2人で操作をして下さい。

⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

4



通し穴

通し穴

オーニングアーム側より天幕をかぶせタレ部分
の通し穴よりオーニングアームを通しフレーム
にかぶせます。



通し穴

5



スライダー

トラスバー下部のV字部分を持ち上げながら、
さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大
まで広げ、各柱ごとのスライダーを、『パチン』と
音がするまで押し上げます。

⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

6



オーニングアームの先端のキャップを付属の
専用工具で取り外します。

⚠ 注意 細かい部材を取り外します。取り外した
部材をなくさない様、ご注意ください。

軒の箇所を「サイン」としてご使用される場合

10



オーニングアームを上段の位置で固定します。
サインで使用時は中間ボールは使用いたしません。
※オーニングの可動は必ず2人で操作をして
下さい。
上記⑩と同じようにベース部を足で踏みな
がら、柱を上方向へ『カチッ』と音が鳴るまで
伸ばします。

※柱の伸縮は2人で操作をして下さい。

⚠ 注意 手や指をはさまないようご注意ください。

11



反対側の柱も同じように伸ばせば完成です。

13



反対側の柱も同じように伸ばせば完成です。

7



オーニングアームの溝にオーニング本体を通し
取り付けしていきます。

※この際オーニング本体の前後の向きにご注意ください。
すべてのオーニング本体を取り付けたらパーツ
先端のキャップを再び取り付けます。

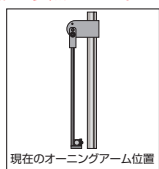
8



オーニングバーを用意しオーニングアーム先端
にかかるように取り付け、オーニング本体をバ
ーにマジックテープで固定します。

※オーニングバー取り付け方法は右記を参照ください。

取り付け完了後オーニングを
下段に下ろします。



現在のオーニングアーム位置

9

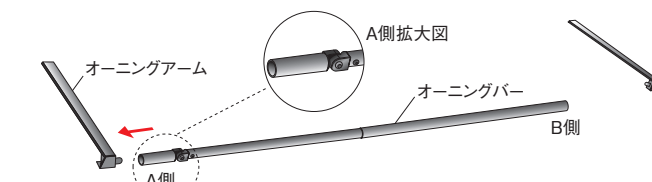


オーニング本体とテントをマジックテープで
しっかりと止め固定します。テント内部のフレーム
とテントを各ジョイントごとのベルトで固定してい
きます。

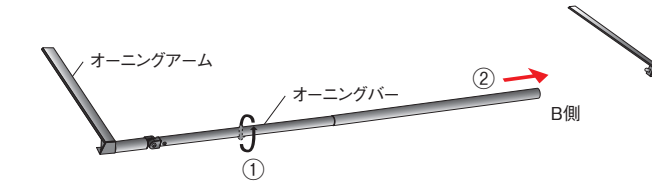


8 補足 オーニングバーの取り付け方法

① オーニングバーのA側をオーニングアームの先端に差し込みます。
必ずA側を先に差し込んでください。



② ①をひねり②方向へ引き伸ばします。



ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合は
テントのご使用を中止してください。また対応につきまし
ては、お求めになった販売店へお問い合わせ下さい。

- 天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか？
- 天幕と本体フレームの、マジックテープの貼り付き具合は弱くないですか？
- 天幕はたるみなく「ピン」と張れていますか？雨水が溜まりそうではありませんか？
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか？

③ ①の様にもう一方のオーニングアームB側まで引き伸ばし
差し込みます。外れない様しっかりと突っ張った状態で②のように
ひねり固定します。

